

洪水・土砂災害ハザードマップの見方

想定されている現象について

【洪水(外水はん濫)】

およそ80年に1回起こる大雨(2日間の総降水量360mm)により、久慈川、長内川、夏井川、小屋畑川および鳥谷川がはん濫した場合に想定される浸水をシミュレーションにより求め、想定される浸水の範囲と深さを示しています。
対象とする区間以外でのはん濫、支派川のはん濫、内水によるはん濫、想定を超える降雨などは考慮していないため、浸水の範囲や深さが実際と異なる場合がありますので、ご注意ください。

【内水はん濫】

大雨により排水路に処理能力を超える雨水が流れ込んだり、川の水位上昇により逆流するなどして、市街地等に水があふれ出す現象です。
平成18年(2006)以降に発生した代表的な降雨(下表)による浸水範囲を重ねて表示しています。

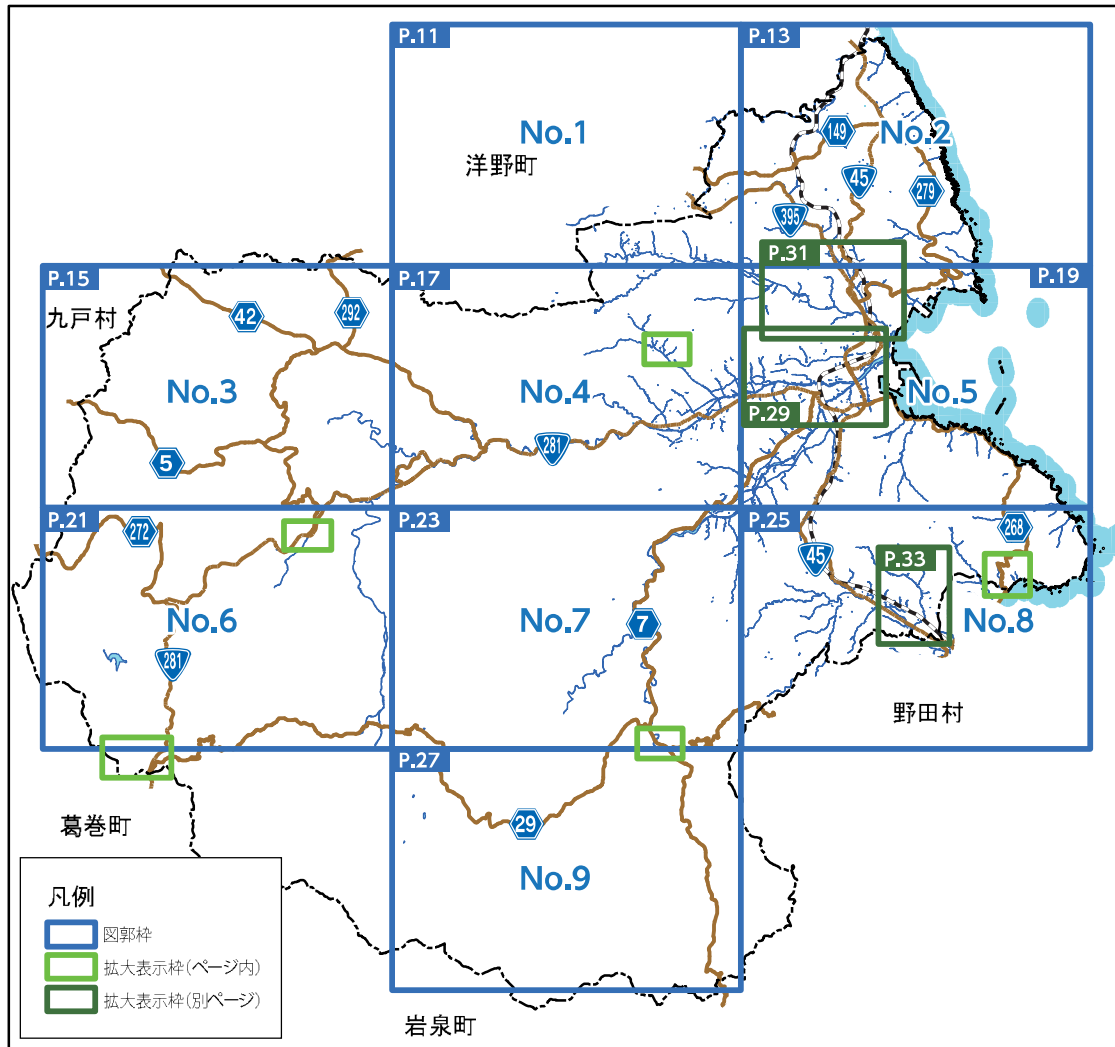
対象降雨	総雨量	最大1時間降水量
平成18年10月6日~7日	183mm*1	13mm/h*1
平成18年12月27日	183mm*1	48mm/h*1
平成21年10月8日	219mm*1	49.5mm/h*1
平成28年8月29日~30日	278.5mm*2	80mm/h*2

*1 「久慈」気象観測所における計測値 *2 「下戸鎖」気象観測所における計測値

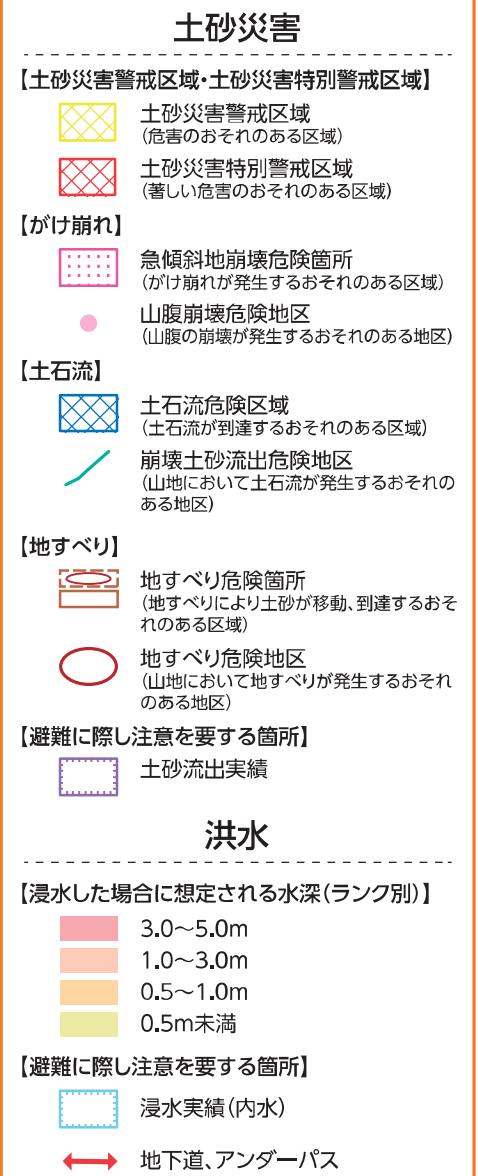
【土砂災害】

「土砂災害警戒区域」、「土砂災害特別警戒区域」は、土砂災害防止法に基づき1/2,500の詳細な地形図により現地調査を行って指定された土砂災害のおそれがある区域です。
その他の土砂災害危険箇所などは、1/25,000地形図により土砂災害のおそれのある箇所を図上で想定した箇所です。

図割



地図記号



※このハザードマップは、次の資料に基づいて作成しています。
洪水：岩手県が作成した「久慈川水系浸水想定区域図」
土砂災害：岩手県が作成した「土砂災害警戒区域等指定図」、「土砂災害危険箇所図」、「山地災害危険区域図」